

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービスみかん田能		
○保護者評価実施期間	2024年12月2日		2024年12月25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29	(回答者数) 22
○従業者評価実施期間	2024年12月2日		2024年12月25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数) 15
○事業者向け自己評価表作成日	2025年1月17日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童同士の関わり合いが強く、集団で行うことで児童の意欲が高まり成長が助長される。	職員は介入せず、児童同士での関わりを見守ることで児童が自発的に他者と関わっていくことを行うことを強みとする。	学年が分かれているので、高学年の児童が低学年の児童への気遣いを持てる環境や、低学年の児童が自身より年上の人を頼れる環境づくりを取り組んでいく。
2	社内の専門職との連携を図り、児童一人一人に合わせた日常支援の提供を行っている。	社内の専門職(OT、ST等)に児童の様子を見てもらい、支援の中で強化すべき方法などを教示してもらい、職員間で共有し実施している。	一定の児童までしか実施ができていないので、すべての児童へ個々に合わせた支援の提供ができるようにしていく。
3	ご家族様から相談などがあった場合は、必要に応じてご家庭へ訪問させていただき迅速に問題解決に向けて対応を行っている。	相談を受けた際に、当事業所だけの解決が難しい場合などは相談支援員の方へ連絡をさせていただきカンファレンスの開催を依頼したりもしている。	カンファレンスを通じて各関係機関との継続的な協力体制の構築などを取れるように定期的な連絡のやり取りなどを取り組む。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	各ご家庭に向けて支援の情報提供などが相談をいただいた家庭限定になりがちである。	ペアレントトレーニングの実施などができておらず全体に向けての情報発信ができていない。	今後ペアレントトレーニングの実施を検討し、進学を控える方に向けて進学予定の学校の情報を提供できる場などを整える。
2	利用日数が少ない児童などは避難訓練や店舗イベントなどに参加できる機会が少ない。	店舗イベントなどは土曜日に実施することが多く平日に実施が難しいことが多いため。	平日の利用者様へも実施ができるように、祝日や長期休暇も利用し全体的に参加できるように取り組む。
3	カームダウンスペースが確立できておらず、事務所を使用することがある。	建物の都合上、個室を用意することが難しい。	個別課題室をカームダウンスペースと兼用することで児童の気持ちを落ち着ける空間作りに取り組む。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童デイサービスみかん田能

公表日 2025年2月28日

利用児童数 32人

回収数 23

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	22	1	0	0		こどもの活動等のスペースについては、十分に確保されているため、引き続き維持する。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	21	1	0	1		職員の配置数は適切であると考えられるため、現状を維持する。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	22	0	0	1		生活空間の構造化やバリアフリー化、情報伝達への配慮は適切であると評価されているため、現状を維持する。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	23	0	0	0		生活空間の清潔さや心地よい環境については、良好であるため、引き続き維持する。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	20	2	0	1		こどもの特性に応じた専門性のある支援が提供されていると評価されているため、継続していく。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	20	0	0	3		事業所が公表している支援プログラムと提供されている支援内容は一致していると評価されているため、現状を維持する。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	20	0	0	3		個別支援計画の作成については、こどもの特性やニーズを踏まえて作成されていると評価されているため、継続していく。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	17	2	0	4		放課後等デイサービスガイドラインに沿った支援内容が設定されているが、一部「わからない」との回答もあるため、支援計画の内容を保護者へより明確に説明する機会を増やす。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	19	1	0	3		計画に沿った支援が行われていると評価されているため、引き続き維持する。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	20	1	0	2	・工夫されていると思う。 ・週1利用なのでリトミックが多い。	活動プログラムについて、工夫が評価されているが、「リトミックが多い」との意見もあったため、プログラムが固定化しないよう、各曜日にランダムに実施できるよう見直しを行う。
保 護 者 へ	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	6	0	4	13		放課後児童クラブや児童館との交流機会が少ないとの指摘があるため、可能な範囲で地域との交流の場を検討する。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	22	1	0	0		運営規程、支援プログラム、利用者負担等については丁寧な説明が行われていると評価されているため、引き続き維持する。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	17	2	0	4		個別支援計画の説明については、一部「わからない」との回答もあるため、支援内容の説明をより具体的にを行うよう改善する。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	11	0	5	7	・情報共有の機会をもう少し増やして欲しい ・ペアトレ等の実施は今までない。	家族支援プログラムやペアトレについて、「実施がない」との意見があるため、今後はペアトレの導入を検討し、進捗時期に合わせた情報提供の機会を増やす。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	20	2	1	0		保護者との情報共有や共通理解については概ね良好であるため、引き続き維持する。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	22	0	0	1		定期的な面談や子育てに関する助言の機会は適切に提供されているため、継続する。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	21	2	0	0	・詳細が不明瞭である。	職員の共感的な支援について、詳細が不明瞭との意見があったため、保護者に対して支援の内容をより詳しく伝えるよう改善する。

の 説 明 等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	12	1	2	8	・父母の会は無いが親子交流会と保護者同士の交流会があったのは嬉しかった。	保護者会や交流の機会について、「前回の保護者会の参加が難しかった」との意見があるため、今後はより多くの保護者が参加しやすい方法での実施を検討する。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	19	0	0	4		相談や申入れの体制については適切に整備されていると評価されているため、引き続き維持する。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	20	1	2	0		こどもや保護者との意思疎通や情報伝達の配慮については、概ね良好であるため、引き続き継続する。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	19	1	0	3	SNSやブログで発信してくれているのが嬉しい。	SNSやブログでの発信については好評の意見があったため、今後も継続して発信を行う。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	22	0	0	1		個人情報の取扱いについては適切に留意されていると評価されているため、引き続き維持する。
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	18	0	0	5		事故防止や緊急時対応マニュアルについて、「わからない」との回答が一部あったため、保護者への周知を強化する。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	14	1	1	7		非常災害に備えた訓練について、「わからない」との回答が多いため、実施内容を保護者へ積極的に発信する。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	18	1	0	4		こどもの安全確保については概ね良好であるが、一部「わからない」との回答もあるため、安全確保の取り組みをより周知するよう努める。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	17	0	0	6		事故発生時の対応について、「わからない」との回答が一定数あるため、事故発生時の報告や説明をより丁寧に行うよう改善する。
満 足 度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	22	0	0	1		こどもが安心して通所できていると評価されているため、引き続き維持する。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	20	2	1	0	楽しみにしている。	こどもが通所を楽しみにしているとの意見があったため、今後も楽しめる環境作りを継続する。
	29	事業所の支援に満足していますか。	21	1	0	1		事業所の支援に満足しているとの評価が多いため、引き続き維持し、更なる質の向上を目指す。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童デイサービスみかん田能		公表日		2025年2月28日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	15	0	室内の広さを維持するために、活動を行う部屋には物を極力置かないようにし室内の広さを維持している。
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		14	1	児童2名に対して職員1名の配置をおこない、心理師、保育士、児童指導員の配置を行っている。	送迎時に職員が少し不足するタイミングがあるので送迎時の職員配置を見直すことが課題である。	
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		15	0	イラストや写真を使用し視覚支援に務めている。	異年齢の児童が在籍しているため、年齢に合わせた視覚支援を行うために定期的な見直しが必要である。	
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		15	0	毎日、支援後に清掃及び消毒を行っている。	今後も継続して行う。	
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		12	3	部屋自体が少ないが、個別活動を行える空間なども作っている。	児童が不穏になった際は事務所を使用するがクールダウンスペースを設けることも検討していく。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	14	1	毎日の振り返り等は常勤職員でおこない、非常勤職員へは会議にて発信・振り返りを行っている。	常勤職員のみが把握しているように感じる部分もある為、目標設定を行う際には非常勤職員も含められるように改善を行う。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	15	0	会議にて発信を行っている。	会議での発信が主になる為、全職員に情報共有ができていない時もある為、きめ細やかな発信を行うことが課題である。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	15	0	会議にて意見を交換できる時間を設けている。個別での聞き取り等もやっている。	今後も継続して行う。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	10	5	他事業所の方や相談支援、小学校の先生へ見学の時間を設けていただいた意見を元に業の改善に努めている。	評価項目などの作成はないため、必要があれば評価項目などの作成も視野に入れておく。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	14	1	外部講師や法人内の専門職による研修会の実施を行っている。	不定期に研修会を開催しているので、定期的に開催できるように改善していく。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	13	2	ガイドラインの発達の5領域や子どもの発達段階に合わせ職員間で話し合い適切に作成されているが、公表はできていない。	公表を行えるようにする。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	13	2	半年に一度面談を行い保護者のニーズやこどもの様子なども踏まえて作成している。	今後も継続して行う。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	15	0	職員での会議等を行い共通理解を行えるようにしている。	今後も継続して行う。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	14	1	会議などを行い周知を行っている。	今後も継続して行う。また、会議に参加できなかった場合の対応などの検討をおこなう。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	13	2	日々の活動のアセスメントに加えて日々の行動に係るアセスメントも行い、職員全体が把握できるようにしている。	今後も継続しておこなう。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	13	2	ガイドラインに沿って支援内容の設定を行っている。また、移行支援等は学年ごとに設定をかえている。	ガイドラインの周知が職員間で行えていない部分があるので全職員が共通認識を持てるように発信をおこなっていく。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	15	0	常勤メンバーがプログラムの立案を行っている職員への周知を行っている。	常勤メンバーに限らず幅広くプログラムの立案を行えるようにする。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	15	0	週間でプログラムを決めているが、イベントや週間プログラムをシャッフルすることで固定化しないようにしている。	今後も継続して行う。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	11	4	集団活動がメインになっており長期休暇などの際に個別活動の実施を行っている。	個別支援の実施を行える時間を今後は確保できるようにしていく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	14	1	常勤職員の間で話を行い、決まったことを出勤順に職員へ発信を行っている。	なるべく全体が把握できるような発信を心掛ける。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	13	2	業務終了時に残っている職員で必要な場合は振り返りや、気になったことなどの共有を行える時間を設けている。	日々、振り返りは行っていないのでなるべく振り返りの時間を設けるように心がける。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	15	0	支援後に子どもごとに業務日誌を作成し、活動評価表の作成も行っている。	今後も継続して行う。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	15	0	半年に一度面談を行い、ニーズや児童の様子に合わせて随時見直しを行っている。	今後も継続して行う。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	12	3	活動の実施を行う職員は把握ができていますがパート職員などへの共有はまだできていない部分もある。	ガイドラインの周知が職員間で行えていない部分があるので全職員が共通認識を持てるように発信をおこなっていく。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	15	0	日々の支援の中に、おやつの種類や活動の実施等、児童が自分で自己選択できる場面をなるべく多く取り入れている。	今後も児童の自己選択を行う機会をもち自己決定する力を養っていく。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	13	2	基本的には児童発達管理責任者が参画している。場合によっては、指導員と参画することもある。	参画した際の、共有などを常勤職員間で止めることが多いためなるべく共有できるようにしていく。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	12	3	相談支援員さんとの連携は密に行わせていただいているが他機関との連携はできていない。	相談支援員さんだけでなく他の機関とも今後は連携がとれるように努力する。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	15	0	1番は保護者様へ連絡をいれさせていただきますが、緊急時や不明瞭な場合は学校へ連絡調整等を行っている。	今後も継続して行っていく。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	15	0	就学前に通っていた児童発達支援事業所との情報共有は行っている。	今後も新1年生の利用の際は児童発達支援事業所と連携をとっていく。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	11	4	該当児はいないが必要があれば提供をおこなっていく。	今後、必要に応じて対応していく。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	11	4	児童発達支援センターとは連携をとっておらず、助言との機会はないが研修案内など発信したりしている。	必要に応じて連携を検討していく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	13	2	地域の公園やイベントへの参加などはあるが他児童との関わる機会は少ない。	必要に応じて、活動の実施を検討していく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	12	3	児童発達管理責任者が自立支援協議会へ参加している。	自立支援協議会での内容を共有できるようにしていく。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	15	0	送迎時やLINEを通じて児童の様子や状況などの情報共有をおこなっている。	今後も継続して行う。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	11	4	保護者会の実施は行っているが、ペアトレの実施はできていない。	今後、ペアトレの実施を検討しており各家庭に合わせて行えるように調整している。
保	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	13	2	契約時や重要事項説明書が変更になった場合に説明を行うようにしている。	必要があれば個別にLINE等でも発信を検討していく。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	15	0	面談時に保護者様にニーズを聞き取りこどもの様子に合わせて支援を行い、変更等が必要な場合は随時保護者様へご相談させていただいている。	保護者様のニーズによりやすいため、児童の意思の尊重もしっかりとフォーカスを当てていく必要がある。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	15	0	放課後等デイサービス計画に基づいた支援内容を説明し発達段階に合わせた支援計画に同意を得ている。	今後も継続して行う。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	15	0	保護者さまより頂いた相談等には迅速に対応させていただき必要があればご自宅へ訪問させてもらっている。	今後も継続して行う。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	15	0	コロナが収束してきたので去年より親子交流会の実施をしており、兄弟の方がおられるご家庭はご兄弟も参加されている。	ご利用者の利用状況などによっては参加が難しいご家庭もある為、皆様が参加できるように検討していく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	15	0	苦情などがあつた場合は、迅速に対応させていただき必要に応じて周知を行っている。	今後も継続して行う。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	15	0	月末に通信の発行をおこない、毎月1回ブログの発信を行っている。	今後も継続して情報の発信を行っていく。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	15	0	鍵付きキヤベネットにしまい店舗の職員のみが閲覧可能となっています。	今後も厳重に取り扱っていきます。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	15	0	それぞれの特性に応じた声かけやツールの活用（絵カードなど）を行っています。	今後も、特性に応じて情報伝達の配慮を行っていきます。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	10	5	地域のイベント等への参加はあるが事業所での行事に招待するなどは現状は行えていない。	今後は状況に応じて適宜、招待するなどを行っていく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	14	1	マニュアルを整備し、職員が見れる箇所にマニュアルを配置しています。保護者さまへの周知に関しては災害時・感染症発生時・事故発生時などご家庭の協力をいただくものについて文書によりお知らせしています。	マニュアルの刷新などがあつた場合は都度発信をおこない、最新のマニュアルの合わせた訓練を行っていく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	13	2	BCPの策定は行っており、職員への周知も行っている。また、訓練も定期的に行っている。	定期的な訓練を今後も実施していき、BCPの刷新があれば随時周知を行っていく。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	15	0	保護者様より事前にお聞きした上で服薬の管理をさせていただいています。また、服薬後の袋を保護者様へお渡しすることで服薬の確認とさせていただきます。	今後も、継続して行っていく。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	15	0	事前に聞き取り行つたうえで医師の診断書もお預かりしてアレルギー対策に務めている。	今後も、継続して行っていく。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	14	1	日々の支援の中で安全管理、危機管理には職員間で連携を取り、必要な措置を講じている。	必要に応じて訓練や研修を随時行っていく。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	14	1	各家庭への周知を現在進めているが、全家庭への周知は完了していない。	ご家族との連携を図れるように各家庭への周知を進めていく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	15	0	ヒヤリハット記録書を作成し、店舗会議にて共有や改善をおこなう機会を設けている。	今後も継続して行っていく。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	15	0	社内発信による研修をおこない研修の機会を設けている。	社内に留めずに、社外の研修もあれば適宜発信を行っていく。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	10	5	身体拘束について組織的に決定されているが現在、該当児がいないうえ実施はありません。	必要があれば適宜慎重に行うが、身体拘束は基本行わないように支援の提供を行っていく。	